



・発行日 52・5・13  
 ・発行 岡崎市AVL  
 ・編集 広報委員会

視聴覚部の組織と行事計画決る  
 — 十月の県大会に全力を投入 —

去る四月十三日、岩津中学校において開かれた現職教育委員会総会にひきつづいて開かれた視聴覚部会で役員選出に続いて、本年度の活動方針にもとづく年間行事計画が審議され次のように決定されました。

・視聴覚部役員

- |          |       |          |
|----------|-------|----------|
| 部長       | 石川 博  | (美川中学校長) |
| 副部長      | 足立 誠  | (愛宕小学校長) |
| 同        | 太田 憲吾 | (六南小学校長) |
| 視聴覚教育指導員 | 加藤 憲尚 | (福岡小)    |
| 小主任      | 牧野伊佐夫 | (三島小学校)  |
| 中主任      | 石川 誠一 | (南中学校)   |
| 小副       | 白井 正壮 | (愛宕小学校)  |
| 中副       | 白井 央一 | (甲山中学校)  |

・研修活動

・視聴覚主任実技研修会

(テレビカメラの操作) …… 六月

・十六ミリ映写技術者養成講習会 …… 七月

・VTR自作教材講習会 …… 八月

・OEP講習会 …… 八月

・研究活動

・五十二年度購入フィルム選定会 …… 八月

・愛知県学校視聴覚教育研究大会 …… 十月

・研究誌「岡崎の視聴覚教育」第九号の発行

・教材自作活動

・小学校社会科 郷土読本「おかさき」に合わせ

て活用できるビデオ教材を五本

・歴史学習教材八ミリ作品

・広報活動

・視聴覚教材・機材目録の作成

・月報「視聴覚教育」の発行

本年度は、十月十二日(水)に連尺小学校・城北中学校を会場にして、放送学習を中心とした愛知県学校視聴覚教育研究大会が開催されます。

昨年度より、研究依頼校である愛宕小学校・竜海中学校を中心に、視聴覚主任で組織する教科特別専門委員会のメンバーも加わって、放送教育への研究を積み上げてきました。

。本年度も活動の焦点を研究活動におき、次のような教科専門委員会の組織を作っています。

〔小学校〕

社会科。理科。道徳の専門委員会

〔中学校〕

社会科。理科。英語の専門委員会

小中合わせて六つの専門委員会と、大会々場校及び研究依頼校が合同で放送教育への実践的な研究をすすめています。

この研究をより確かなものにするために大阪大学の水越敏行先生、現職教育各教科指導員の先生方からも、たびたびご指導、ご助言をいただき、研究への深まりを求めています。

教室テレビのカラー化進む

全学級カラーは九校に（小学校）

モノクロテレビからカラーテレビへの切りかえは着々と進行をしています。昭和五十一年度、全小学校を対象に調査した結果から見ると、全学級カラー化された学校は九校に達しました。

モノクロと合わせた総台数から見ると二十八校が一〇〇パーセント以上を示しています。しかし保有率の低い学校もあり、両極に分かれた状態に

あるといえましよう。

市内小学校テレビ保有状況

保有率	TV総数 (モノカラー)	カラーTV
100%	28校	9校
80~99	3	3
60~79	0	4
40~59	0	0
20~39	3	5
20未満	3	16

(昭51・10調査)

註. 保有率 =  $\frac{\text{TV台数}}{\text{学級数}}$

岡崎市内のカラーテレビ保有率は、四六。一パーセントに達していますが、参考までに他都市の状況を示すと次のようになります。

都 市	カラーTV保有率
岡 崎	46.1%
碧 南	15.9
刈 谷	54.4
豊 田	10.1
安 城	4.8
西 尾	8.9
高 浜	59.6
知 立	7.4
豊 橋	23.8
豊 川	7.6
蒲 郡	59.8

ライブラリーだより

「視聴覚教材。機材目録。(追録)」を各学校へ配布しました。(小学校七冊。中学校五冊)昭和四十八年度以降のものがすべて収録されています。